



の連携強化
 ・面接指導の強化
 ・追指導の充実強化
 などを行っています。

この二期制を取り入れてきているのは、秋田県内では、秋田高校に次いで、二校目ということでした。

本当の学力を

今、学歴社会は終わり、よい大卒を卒業したというだけでは、社会で受け入れてもらえない時代になって来ている、と言われていきます。学歴よりも、思考力、発想力、表現力のある人、つまり、応用の

利く、使える人材が求められています。

そういう力を養うためには、通常の学習が今まで以上に大切になるため、定期考査の回数を五回から四回に減らし、行事などの日程を見直し、その中で生まれたゆとりを有効に使い、自分の進むべき道に向かって努力する。目先の知識だけでなく、本当の学力を身に付けさせたい、それが学校側の願いのようでした。

新しいことを始めるには、生徒はもちろん、先生方も父兄も不安や不満をとめない、また、大きな努力も必要になり、初めからすべてがうまく行く訳ではないと思います。しかし、私を始め、子どもを持つ親は、子どもたちには、まっすぐに生きて行ってほしい、明るい未来であってほしい、そう願っています。

子どもたちが、そういう将来を生きて行けるようになるための一歩として始めた鳳鳴高校の学校改革『二期制』。先生、生徒、父兄が一丸となつて、ぜひ良い結果を出してほしいと思います。

高校時代は、学校生活、学習、クラブ活動など、すべてにおいて、人生で最も楽しめる大切なときだと思います。また、一生の友を得



ることができるときでもあると思います。

鳳鳴高校の生徒たちに限らず、すべての学校の生徒の皆さん、自分の力で、後悔しない有意義な学校生活を送ってください。

おわりに

取材を終えてから、松山教頭先生に、鳳鳴記念館を案内して頂きました。

一階は立派な図書館、二階は鳳鳴高校百年の歴史を物語る貴重な品々が展示され、ホールや壁には、同窓生の美術品が展示されています。

百年の長い歴史と伝統を土台とし、その上に新しい校風とすばらしい歴史を築いて行ってほしいと思います。

新校訓

質実剛健

表面的な華やかさを捨てて、内容のある実質の立場に身を置き、心身ともに強くたくましく生きよう

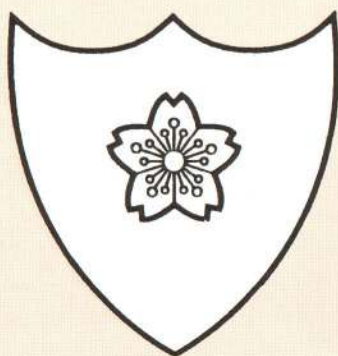
自律共生

意志を強くもって自らを律し、自己にかわりあう人々、社会、自然と共に生き、共に生かし合おう

進取飛翔

志を高く掲げ、新たな課題に挑戦し、未来に向かって大きく羽ばたこう

新校章



校訓・校章とも

平成11年3月3日改定